

# 講義概要

SYLLABUS

令和6年度

3年後期

理学療法学科

神戸リハビリテーション衛生専門学校

KOBE COLLEGE OF REHABILITATION AND HEALTH

講義名	理学療法研究法	
講師	高橋 優基 前田 剛伸	病院で理学療法士として約14年の勤務経験がある。その経験を活かして、理学療法研究法を講義する。 病院で理学療法士として約12年の勤務経験がある。その経験を活かして、理学療法研究法を講義する。
学年・期	3年後期、2単位、30時間（講義）	

講義目標 理学療法学における研究の基本的な考え方を学ぶ。研究を計画・実践する際の方法論について学ぶ。

授業計画	内容	
第1回	理学療法研究の意義・目的	(高橋)
第2回	研究のデザイン	(高橋)
第3回	測定尺度	(高橋)
第4回	母集団とサンプリング	(前田)
第5回	仮説検定の考え方	(前田)
第6回	統計の基礎、統計用語	(前田)
第7回	代表的な統計学的手法	(前田)
第8回	統計学的手法の選択	(前田)
第9回	グラフの読み取り	(高橋)
第10回	四分表、感度と特異度	(高橋)
第11回	オッズ比、尤度比	(高橋)
第12回	EBM、エビデンスレベル	(高橋)
第13回	文献検索	(高橋)
第14回	先行研究の批判的吟味	(高橋)
第15回	研究倫理、利益相反	(高橋)

履修上の注意

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：高橋

テキスト

参考図書  
その他 配布資料

講義名	理学療法管理学	
講師	安井 翔一	病院で理学療法士として約14年の勤務経験があり、また管理職としてリハビリテーション科の運営に関わっている。その経験を活かして理学療法管理学を講義する。
	嘉戸 直樹	病院で理学療法士として約26年の勤務経験があり、また管理職としてリハビリテーション科の運営に関わっている。その経験を活かして理学療法管理学を講義する。
学年・期	3年後期、2単位、30時間（講義）	

講義目標 理学療法の職場管理において求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について学び、理解する。また権利擁護や職業倫理について学び、患者やその家族、職場内において、社会人として適切な対応がおこなえることを目的とする。

授業計画	内容	
第1回	理学療法管理（総論、医療法における医療と医療圏・医療機関）	（安井）
第2回	理学療法管理（病院内の組織、チーム医療、社会保障のしくみ）	（安井）
第3回	理学療法管理（医療保険・介護保険制度の体系とその概要）	（安井）
第4回	理学療法管理（診療報酬・介護報酬と収益構造）	（安井）
第5回	理学療法管理（保険・医療・介護・福祉の連携）	（安井）
第6回	理学療法管理（理学療法業務と労務管理、情報管理）	（安井）
第7回	理学療法管理（リスク管理、感染症管理）	（安井）
第8回	理学療法倫理（職業倫理①）	（安井）
第9回	理学療法倫理（職業倫理②、権利擁護）	（安井）
第10回	理学療法教育（教育の本質、臨床実習と臨床教育、生涯学習）	（安井）
第11回	理学療法教育（BSCによる目標管理）	（嘉戸）
第12回	理学療法教育（SWOT分析）	（嘉戸）
第13回	理学療法教育（PDCAサイクル）	（嘉戸）
第14回	理学療法教育（EBM）	（嘉戸）
第15回	理学療法教育（情報提供）	（嘉戸）

履修上の注意

成績評価	期末試験により判断する。単位認定者：安井	
テキスト	「15レクチャーシリーズ 理学療法学テキスト 理学療法管理学」（中山書店）	
参考図書 その他	「リハビリテーション管理学」（医学書院）	